

## (中ノ郷地区公民館)

<p>事業名</p>	<p>子どもと大人のふれあい事業 「障がい者スポーツ ふうせんバレー体験」</p>
<p>目的</p>	<p>地域の子どもたちに、体験や学習を通して人権や福祉について考えるやさしい心を育ててもらおうと、子どもと大人のふれあい事業で「障がい者スポーツ・ふうせんバレー」を企画しました。鳥取市出身の社会福祉の父系賀一雄生誕 100 周年、第 14 回全国障がい者芸術文化祭開催など障がい者の方への理解を深める機会が多かった今年、いろいろな方との偏見のない交流を経験することで、自他ともに尊重できる心を育てることを目的に行いました。</p>
<p>事業の概要</p>	<p>日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ上級指導員であるアダプテッドスポーツクラブ「ぼくたちのコミュニケーション」代表の荘田美奈子さんを講師にお迎えしました。 スポーツ車椅子など利用し、普段経験しない不自由さを感じながら、助け合いみんなで楽しくゲームを行うための思いやりを学びました。</p>
<p>工夫した点</p>	<p>出来るだけ年代・性別・障がい等に関係なく多くの方に参加していただくこと、町内会回覧をはじめ、小学校の全校児童にチラシの配布や、中学校にもポスターの掲示などご協力いただきました。また、ふうせんバレーの風船を公民館に展示し、公民館利用者の方に実際にさわっていただいで参加を呼びかけました。</p>
<p>所見 アドバイス</p>	<p>スポーツ体験ということで、自分にもできるか心配された方もありましたが、おばあちゃんとお孫さん・親子・友だち同士など、様々な世代の方々に、参加していただき、異世代の交流も深めることが出来ました。 最初は、なかなかルールを理解しにくかった小さい子どもたちも、最後には、他の参加者と協力し合い、互いに思いやる心が芽ばえるなど、一つひとつ事業を積み重ねる意義や大切さを改めて実感しました。今後も、開催内容や時期、広報を工夫して、地域の皆さんに一人でも多くご参加頂けるよう努力していきたいです。</p>



講師に優しく指導を受け  
る子どもたち



ゲームを楽しむ参加者